

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
甲府市	北部山付東部果樹地域 (平瀬町上野地区)	令和4年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	5.26ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	3.3ha
③地区内における80才以上の農業者の耕作面積の合計	1ha
うち後継者が居ない農業者の耕作面積の合計	0.6ha
④地区内において今後耕作できなくなる可能性のある耕作面積の合計	2ha
⑤地区内において今後中心経営体等が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

(1) 地域内の農業者数の減少、高齢化が進むとともに、専業農家が数名しか居ないことに加え、後継者が居ない農業者が大半を占めており、農地が遊休化しないよう維持・管理を行うので精一杯となっている。
(2) 担い手不足に伴い、耕作放棄地が年々増加傾向にあることに加え、鳥獣被害が多発し、生産意欲の減少につながっていることが、耕作放棄地の増加を助長している。
(3) 地区で主要な作物となっている稲作だけでは収入につながらず、経営が成り立たない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化及び今後の方針

(1) 地域内の農地の受け手が不足しているため、企業や新規就農者などを地域外から呼び込み、農地の受け手を確保していくとともに、新規就農者の育成やサポートを地域一体となってい、今後の地域農業を担っていく中心経営体となるような人材の育成を行っていく。
(2) 企業や新規就農者など、地域外から新たな農地の受け手を確保するためには、農業を始めやすい環境や継続的に農業経営を行っていきける環境を整える必要がある。また、営農環境の整備だけでなく、地域の情報発信を行い、広く地域の魅力を知ってもらう機会を設ける必要がある。
(3) 市民農園等の開設を検討し、高齢者や都市住民のレクリエーションの場を提供することで、農地の有効利用と併せて、地域の活性化を図る。

(4) 地域で栽培される米は評判が良いことから、生産から出荷までを地域一体となって行うとともに、ブランドとしての付加価値を付けることで、有利販売につなげていく。

(5) 地域住民で設立された「上野まちづくり協議会」が耕作放棄地対策として取組んでいる薬草栽培を継続して行っていくとともに、手間がかからず鳥獣被害が少ない作物の栽培など、収益性の高い作物の導入を検討していく。

(6) 集落営農組織や法人の設立を検討し、組織的な農地集積を行い、共同で農作業を行うことで、収益の向上を図る。

(7) 農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し、地域で農地情報を共有することで、農地の出し手と受け手を明確化しながら、農地銀行制度や農地中間管理機構を活用することで、農地の集積を促進する。

(8) 獣害被害が拡大し、農業収入の減少や営農意欲の低下が懸念されることから、管理捕獲の取組みと併せて、捕獲機材の導入や獣害防止柵の整備を進める必要がある。

今後の地域の中心となる経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向	
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積
	農業者A	水稲	0.6 ha	水稲	0.6 ha
	農業者B	水稲	0.4 ha	水稲	0.4 ha
	農業者C	水稲、野菜	0.5 ha	水稲、野菜	0.5 ha
合計	3人		1.5 ha		1.5 ha